

【令和 3 年度】

1 寄附活用事業の事業費 1,008,612 円

2 寄附額計 500,000 円

1. 特産品の開発・振興事業

・地域再生計画に掲げる事業名

活力ある筑前町を維持するための人材の育成と雇用を創出する事業

・事業の概要

町内で生産される農産物（黒大豆・きず・小麦・米粉等）を使用した商品の開発を行い、町の特産品として町内外で認知度を高め、ブランド化されるよう支援を行う。

・事業費の内訳

事業費計 517,626 円

地方創生応援税制の適用のある寄附額計 100,000 円

上記以外の財源 417,626 円 417,626 円

2. 自主防災組織推進対策事業

・地域再生計画に掲げる事業名

時代に合った地域をつくり、安心して住み続けたいまちを創出する事業

・事業の概要

1 共助の精神に基づく地域防災体制の強化を図ることから、自主防災組織の育成の取り組みを行う。

2 令和 2 年度より県主催で防災士養成研修が開催されており、受講負担金を町で負担する。

3 防災士資格取得後は、自主防災組織や避難所運営のリーダーとして活躍を期待する。

・事業費の内訳

事業費計 187,986 円

地方創生応援税制の適用のある寄附額計 100,000 円

上記以外の財源 87,986 円

3. 戦跡（掩体壕、大刀洗飛行場跡地周辺戦跡等）保存・活用事業

・地域再生計画に掲げる事業名

地域魅力の情報発信により、筑前町への新しいひとの流れを創出する事業

・事業の概要

かつて本町には旧陸軍が東洋一の規模を誇った大刀洗飛行場を中心とする一大軍都が存在し、歴史的役割を果たしながら大きく発展していったが、昭和20年3月の大空襲によって壊滅的な被害を受け、民間人を含む多くの尊い命が奪われることとなった。また、この飛行場は特攻隊の中継基地として、数多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った場所でもある。このような多くの尊い犠牲のうえに今日の平和と繁栄があることを深く感謝し語り継ぎ、平和のメッセージを発信し続けていく拠点として大刀洗平和記念館は建設された。周辺には今もさまざまな戦跡が残っており、中でも高上(たこえ)地区にある掩体壕(えんたいごう)は戦跡保存公園として整備する予定で、このための財源をとして寄付を募り、基金を造成する。

・事業費の内訳

事業費計	303,000 円
地方創生応援税制の適用のある寄附額計	300,000 円
上記以外の財源	3,000 円